

ぎ かい の 柱

NO.70 令和3年8月1日号

6月定例会などの内容をお伝えします。



CONTENTS

[特集] みんなの声……………	P2～3
臨時会（第2回）……………	P4～5
6月定例会……………	P6～7
常任委員会審査報告……………	P8～9
会派代表質問……………	P10～11
一般質問……………	P12～15
政務活動費の公表……………	P15
議員表彰……………	P16

特集 みんなの声
伝統芸能に携わる人
×
市議会

7月15日 綴子神社例祭 獅子踊り
(当番町：下町)

特集 みんなの声

伝統芸能に 携わる人 × 市議会

世界一の大太鼓 綴子神社例祭への想い

令和3年6月15日、本年度の例祭の当番である綴子下町自治会(綴子下町大太鼓保存会)会長の鈴木祐悦さんと下町若勢会前会長の畠山正和さん、下町子供育成会会長の藤島裕樹さんに7月14日、15日に行われる綴子神社例祭について取材しました。

昨年度と今年度は、コロナ禍の影響で規模の縮小を余儀なくされ、神事や獅子踊りの奉納などは行っていないものの、2年連続で大太鼓の演奏、奴踊りなどの巡行を中止とせざるを得ない状況の中、お祭りへの熱い想いが語られました。

お祭りの歴史

議員 お祭りの歴史や経緯などを教えてください。

鈴木 綴子は農地が多いが、水利が悪いことから、雨乞いの神事として、鎌倉時代後期約760年前から獅子踊りの奉納が始まった。その後、奴踊りを佐竹の足軽から習い踊るようになったが、当時のお囃子の太鼓は大きくなかった。下町集落が無かった時代から、上町の上と下で競いあってきた経緯があり、下町集落ができてからは、神社への奉納の際、上町と下町が先陣争いで喧嘩になり、けが人が出たり、太鼓が傷つくなど、お祭り自体が疲弊してしまうからと、

昭和5年から1年交代になった。しかし、太鼓の音を雷に似せて雨が降るようにと、少し大きく太鼓を作ったところ、お互いに負けたくないで、何年か後には5cmでも10cmでもと大きいのを作り、そうした中で日本一に。昭和61年に作った3m71cmの太鼓が平成元年にギネスの認定を受け世界一に。そのあと上町が3m80cmの大太鼓を作った。

議員 太鼓を大きくしていく上で何か工夫されたことは。

鈴木 太鼓作りの工夫として、音を良くするためにピアノ線を入れた時もあったようだし、太鼓を全て新調するのではなく、出来合いのものを大きくし、更新しながら作り変えてきている。



取材中の様子

議員 今後も競い合いますか。

鈴木 2mの太鼓は馬の皮で作っており音も良いが、大きな太鼓は馬ではできないので2頭の牛探してから始まる。今の太鼓は北海道の牧場で見つけたホルスタインの種牛でできたが、品種改良で小型化しているので、今より大きいのは無理だと思う。

伝承方法の移り変わり

議員 担い手や人員の確保は。

畠山 踊りは青年と子ども、太鼓や笛は主に青年の踊りを引退した方が担っている。さらに芸能を引退した方や婦人会にも運営にお力添えをいただいております。集落全体により支えられている。

鈴木 昔は大人のお祭り、子どもが入る余地が無かったが、だんだん「子ども達にも教えるべきだね」と機運が高まった。

畠山 昭和52年には子ども達による奴踊りが、昭和58年には獅子踊りが披露されるようになった。藤島 子ども達は、現在、幼児も合わせて16人。ここ何年かで、だいぶ減ってきた。



大太鼓の説明をする鈴木さん(大太鼓の館)

鈴木 今は女性の方々も笛に参加

してくれている。これからは綴子出身で別の町へ行った人もお祭りの時に入ってもらい、盛り上げていく時代だと感じている。

議員 笛や踊りの伝承方法は。

鈴木 笛はチャンネルヘラチューラヘラとか口伝えでしたが、若勢会で芸能を映像に残す活動を頑張ってくれている。

畠山 例祭はもとより、市民俗芸能大会等に出演した際の映像を保存するとともに、それを演者全員に配布することを重視している。

藤島 我々が20年ほど前に笛を覚

えた時は、ビデオテープが擦り切れるくらい観て、毎週集まるなど、毎日のように練習した。今は誰かが吹いているのを後ろからスマホで撮ったりかな。

行政への要望

議員 市に対し要望はありますか。

鈴木 お祭りを見に来たことがない市民の方々も多いので、年に1回、市のバスを出すなどして、市民の方々が見に来られるよう支援してほしい。

畠山 令和元年の例祭では、地域

への波及効果を期待し、保存会が手作りでポスターを用意し、市内や近隣市町村の施設に掲示をお願いした。これに支援があれば、さらなる広がりが見込める。また、保存と活用のため

国の重要無形民俗文化財の指定を実現できればと考えるが、これは行政の手引きが欠かせない。

議員 資金面のご苦労は。

鈴木 太鼓作りは、最低でも500万円から600万円掛かる。町や地元企業等からの募金などで支えられてきた。イベント等での太鼓の輸送費は、出演料に

含め請求するが、特別な大きさなので、秋田市まででも45万円程度は掛かる。

次のステージをめざして

議員 コロナ禍の影響で2年連続で大太鼓の奉納が中止になったが心境は。

鈴木 1年交代なので、空いたから廃れることではないが、若い人に新しく入ってもらうきっかけづくりが、この機会にできればと思う。

畠山 この芸能に込められた先陣たちの「祈り」を考えるいい機会と捉えたい。

議員 今後やりたいことや考えていることはありますか。

鈴木 宵宮祭よひみやまつりは夜の奉納となることから、太鼓をライトアップするなど見せ方を工夫したい。

畠山 秋田市で開催された「食と芸能大祭典」に出演した際の観覧者がインターネットを通じて自主的に紹介してくれたためか、その後の例祭では、かつてないほど県内外から多くの人が訪れた。伝統を継承しつつ、観る人に感動を与えられるよう知恵を出していきたい。

鈴木 芸能大会に行つて、他の芸

能の方々が一生懸命やっている姿を見ると「よくやってるな。自分らも負けてらんねえな」って刺激をもらいます。北秋田市は文化財、民俗芸能の宝庫だと思つるので、皆で頑張つて大事に残してもらいたいと思つています。



(左)藤島裕樹さん、(中)鈴木祐悦さん
(右)畠山正和さん

取材を終えて

お祭りの起源、農耕で生きるために天からの雨を求めた雨乞いの神事。その願いの強さと上町と下町それぞれの独自性を尊重しつつ、互いに切磋琢磨してきた向上心がこのお祭りを発展させてきたのだと考えさせられた。世界一の太鼓に達しても向上心は留まることなく、今後も地域の思いと結びつきながら発展し続ける民俗芸能の生命力を感じました。

第2回 臨時会

第2回臨時会が4月27日に開かれ、承認8件、予算案1件、その他議案4件、人事案4件が上程され、審議の結果それぞれ承認、可決されました。

松尾秀一氏を追悼



臨時会の冒頭では、3月5日に逝去された松尾秀一氏の「追悼の儀」が行われ、市議会議員と当局出席者が松尾氏の冥福を祈りました。議場には、松尾氏の遺影が安置され、はじめに全員で遺影に黙とうをささげ、このあと黒澤議長が弔詞を読み上げたほか、佐藤重光副議長、津谷市長がそれぞれ追悼の言葉を述べました。

この日は、松尾氏の妻・富子さんと次女・珠希さんが見守るなかで行われ、追悼の儀の終了後には議長からお二人に遺影と弔詞が手渡され、お二人はそれを大事に腕に抱え、松尾氏が長年にわたり論戦を交わした議場を後にしました。

津谷市長が所信表明

今年の4月に再選を果たした津谷市長が所信表明を述べ、9つの重点事項を掲げながら、「4期目の市政の舵取りに全身全霊で臨む」と決意を表明しました。

令和3年度一般会計 約12億円を追加補正



令和3年度当初予算が骨格予算であったことから、今臨時会には政策的予算が上程され、新型コロナウイルス関連の支援事業や緊急経済対策事業をはじめ、合川公民館建設費など、総額で12億103万4千円の追加事業が提案されました。

質疑、討論のあと起立採決が行われ、賛成多数で原案どおり可決しました。

骨格予算：選挙時期等の関係から政策的な予算計上を避け、人件費など必要最小限度の経費を計上した予算のこと。

（この内容は骨格予算の説明として記載されています）

◆主な事業と予算額

- ▽秋田内陸線貸切列車等利用促進事業費補助金 235万円7000円
- ▽公共交通事業者事業継続支援補助金 400万円
- ▽飲食店等事業継続緊急支援事業補助金 6313万円
- ▽店舗・事業所等改修支援事業補助金 3014万9000円
- ▽Web会議等環境整備支援事業補助金 500万円
- ▽学生生活支援事業補助金 2577万9000円
- ▽比内地鶏応援ありがとう事業 585万2000円
- ▽新型コロナウイルス対策応援事業 1億9500万円
- ▽緊急子育てサポート事業 6600万円

人事案件

教育委員会委員の任命

〈再任〉 蒔苗 隆 氏（宮前町）

監査委員の選任

〈新任〉 柴田 榮則氏（五味堀）

綴子財産区管理委員の選任

- 〈新任〉 三沢 晃 氏
- 〈新任〉 畠山喜久雄 氏
- 〈新任〉 浪岡 正幸 氏
- 〈再任〉 太田 兵一 氏
- 〈再任〉 佐藤 與藏 氏
- 〈再任〉 藤島 勝政 氏
- 〈再任〉 三沢 秀夫 氏

七日市財産区管理委員の選任

- 〈新任〉 藤原與士美 氏
- 〈新任〉 九嶋 勝春 氏
- 〈新任〉 大川 正直 氏
- 〈新任〉 堀部 雅彦 氏
- 〈再任〉 畠山 鐵男 氏
- 〈再任〉 千葉 一永 氏
- 〈再任〉 長岐 勝 氏

永井議員が産業建設常任委員に

今臨時会において、議長の指名により、永井昌孝議員は議席が11番に、常任委員会が産業建設常任委員に決定しました。

また、会派については、新創会（佐藤重光代表）から永井議員の加入による会派異動届が提出されています。

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属党派・議員氏名 採決結果	採決結果	新創会					みらい					緑風・公明			日本共産党 議員団		無党派				
		佐藤重光	虹川敬	杉渕一弘	佐藤文信	永井昌孝	松橋隆	佐藤光子	大森光信	中嶋洋子	黒澤芳彦	堀部壽	小笠原寿	武田浩人	関口正則	板垣淳	三浦倫美	久留嶋範子	山田博康	福岡由巳	長崎克彦
議案名																					
【令和3年第2回臨時会／令和3年4月27日採決】																					
議案第48号 令和3年度一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、採決には加わりません。

賛成討論
小笠原 寿 議員
今補正予算は、再任された津谷市長のカラーを出す為の肉付けされた政策的予算である。コロナ対策の緊急的支援事業や地方創生の実現に向けた予算が含まれており賛成する。

反対討論
福岡 由巳 議員
提案の緊急経済対策は、キティ予算も回してすぐに活用すべきである。キティ事業には批判が多く、市長の施政方針や説明資料が事前に示されないなど瑕疵があり認められない。

賛成討論
佐藤 光子 議員
飲食店を支援する事業や、子育て世帯を支援する事業など、スピード感を持って取り組んでいかなければならない事業が盛り込まれ、通さなければならぬ予算である。

反対討論
板垣 淳 議員
ハローキティ事業は不要不急。その予算1500万円は暮らしを良くすることに使え。緊急事態宣言下に飛行機代補助など東京との行き来を推進するのもおかしい。

▼議案第48号
賛成・反対討論

第2回 市議会全員協議会 「道の駅たかのす」基本構想



第2回全員協議会が、5月31日に開かれ「道の駅たかのす」基本構想について協議をしました。

——県内第1号の道の駅

「道の駅たかのす」は、平成元年に供用を開始した大太鼓の館と大太鼓の里ぶっさん館を中心として、平成5年に県内第1号の道の駅に登録され、十和田八幡平や田沢湖、白神山地など、広域観光の交流拠点として多くの方に利用されてきました。

——新たな機能を加え、集客力向上

当局からは「施設の老朽化が進み、さらには日沿道の延伸により、このままでは来場者の減少が予想される。これまでの食事やトイレ等の休憩機能や情報発信機能に加え、地域経済・産業の活性化のための地域振興施設や子育て応援施設、防災施設を整備していく予定である。今年度、基本設計の策定し、令和6年度の完成を目指す。事業費の見込みは13億9,000万円」などと説明がありました。

——場所に関する質疑多数

説明に対し、議員からは「伊勢堂岱遺跡や空港近くへの移設は検討したか」、「日沿道の延伸で交通量の減る場所の道の駅を整備するのか」、「近くに隣接市の道の駅があり利用者の取り合いになるのでは」など場所に関する質疑が出されました。

——特色ある道の駅に

質疑に対し、当局からは「検討委員会でも現在のほか3か所を候補に挙げ検討したが、現在の場所が最も良いとの結論になった。今の道の駅をこのままにしておくも廃れる一途をたどる。整備は必要不可欠であり、この整備に合わせ可能な限り地域振興や子育て支援、防災の拠点としての機能を備えていく。大太鼓などの地域文化の伝統継承を目的に併せ持つ道の駅は、全国的にも少ないことから、こうした特色をいかし、他の道の駅との差別化を図っていきたい」などと説明し、基本構想への理解を求めました。



起立採決（発議案第5号 北秋田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について）

令和3年 6月定例会

令和3年度一般会計予算

3億4505万4千円を追加



6月定例会の主な議事

- 北秋田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和3年度一般会計補正予算
- 令和3年度各特別会計補正予算
- 工事請負契約の締結について（合川公民館改築工事（建築工事））
- 財産の無償譲渡について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- 北秋田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議員発議

議員定数削減案

現行 20人 ↓ 18人

令和3年北秋田市議会6月定例会は、6月17日から6月29日までの13日間の会期で行われました。6月定例会では、条例案1件、補正予算案9件、単行議案3件、報告2件、陳情2件、最終日に提出された発議案6件などが審議され、全て可決、採択されました。

今定例会でも、新型コロナウイルス感染症防止対策を施しての開催となりました。

最終日、議員発議により議員定数を削減する条例案が提案されました。提案の理由は、現在の財政状況や人口減少、県内の類似市とを比較し、2人減が適当としたものです。

可決された当該条例は次の選挙から施行されます。

▼令和3年度一般会計補正予算

今定例会に上程された令和3年度一般会計補正予算は、3億4505万4千円を追加し、総額232億6756万2千円とするもので、主要事業と予算額は次のとおりです。

主な補正予算		予算額
ふるさと寄付金事業		44,100千円
電算システム移行事業		60,107千円
緊急経済対策関連事業		81,000千円
(内訳)	店舗・事務所等改修支援事業補助金	(60,000千円)
	新しい生活様式への対応備品等購入支援事業補助金	(6,000千円)
	Web会議等環境整備支援事業補助金	(15,000千円)
新型コロナウイルスワクチン接種事業		33,860千円
道の駅たかのす整備事業		21,901千円

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属会派・議員氏名 採決結果 議案名	採決結果	新創会					みらい				緑風・公明			日本共産党 議員団			無会派				
		佐藤重光	虻川敬	杉淵一弘	佐藤文信	永井昌孝	松橋隆	佐藤光子	大森光信	中嶋洋子	黒澤芳彦	堀部壽	小笠原寿	武田浩人	関口正則	板垣淳	三浦倫美	久留嶋範子	山田博康	福岡由巳	長崎克彦
【令和3年6月定例会／令和3年6月29日採決】																					
議案第54号 令和3年度一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○
発議案第5号 北秋田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○

賛成・反対討論

▼議案第54号

反対討論 板垣 淳 議員

「道の駅たかのす」整備費が計上されている。整備に反対ではないが今の計画ではよいものにならない。14億円という大事業であり、検討や議論がもっと必要。

賛成討論 虻川 敬 議員

高速道路が全線開通した後、北秋田市はただの通過点になってしまう懸念があり、立ち寄って頂く拠点として「道の駅たかのす」は必要不可欠。早期に整備計画を進めるべき。

反対討論 福岡 由巳 議員

日治道開通に伴い車の流れが変わり、伊勢堂岱遺跡の世界遺産等から観光振興の戦略見直しが決済で「道の駅たかのす」の在り方もその中で検討すべきであり構想は性急すぎる。

討論とは

案件に対しての賛成や反対の意見を表明し、その理由を明確に述べることで、他の議員に自分の意見を賛同させることを目的に行うものです。

▼発議案第5号

反対討論 久留嶋範子 議員

合併時から71人、26人、20人と減らしてきた。数を減らすということは市への住民の声を減らすこと。議会の役割は市政をチェックすること。そのためには適切な人数が必要。

賛成討論 虻川 敬 議員

市民から議員の定数が多いとの声がある。市民感情に伝える事が今後の議会運営の安心感、信頼感、期待値につながるものと考えられる。定数削減しても機能的な議会運営はできる。

反対討論 福岡 由巳 議員

市民からは議員の活動が良く見えないとの声を聴く。議員定数削減は市民の付託に応えるには更に困難になると危惧する。よって、議員の資質向上に努め、定数は現状のまま。

賛成討論 山田 博康 議員

県内各市議会は定数削減の状況であり、当市の人口規模から現在の定数では市民から受け入れてもらうのは困難。競争原理を働かせ活力ある議会運営実現の為に必要である。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを図るための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	秋田市山王四丁目4番14号 秋田県教職員組合 執行委員長 櫻田 憂子	採択	提出
地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての陳情	大館市豊町2番37号 連合秋田大館鹿角地域協議会 議長 山内 一滋	採択	提出

[委員長]大森光信 [副委員長]武田浩人
山田博康／三浦倫美／小笠原 寿／佐藤光子／佐藤重光

総務文教常任委員会

移住者への住宅譲渡 5年の要件付

当委員会に付託された案件は、予算案2件、単行議案3件、陳情2件の計7件でした。

令和3年度一般会計補正予算について、委員から「ふるさと寄附金をしていただいた方に継続してもらうため、手書き礼状など、きめ細かい対応をしていくべきと思うが」との質疑があり、当局からは「引き続き丁寧な礼状を送るとともに、寄付をいただいた方々の要望や質問にしっかりと対応していきたい」との答弁がありました。

また、公共施設等総合管理計画改訂業務委託について、当局からは「平成28年度に策定した公共施設等総合管理画から5年経過しているため、計画どおりに、どのくらい進捗しているか、また、今後どうするかを改めて見直しするために行うもの」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、財産の無償譲渡については、委員から「移住したが、何らかの理由で退去すること

も想定しなければならぬのではないか」との質疑があり、当局からは「5年以内に退去した場合は市に戻せるという条項を契約書と登記の権利部に明記することを考えている」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

陳情についても、審査の結果いずれも、全会一致で、採択すべきものとし、意見書を提出することと決しました。

(委員長 大森光信)



移住者に譲渡する住宅（阿仁地区）

[委員長]佐藤文信 [副委員長]中嶋洋子
杉渕一弘／福岡由巳／久留嶋範子／関口正則／黒澤芳彦

市民福祉常任委員会

ワクチン接種 7月末日を予定

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案6件の計7件でした。

令和3年度一般会計補正予算では、新型コロナウイルスワクチン接種事業について、7月末までに高齢者へのワクチン接種を完了する予定であります。集団予防接種委託について、医師数と委託先

について質疑があり、当局からは「接種センターに登録している医師は47名で、市民病院と委託契約をしている。1日750人接種する場合は、7ブースを用意し、1ブースに医師1名、看護師2名、ワクチンの充填、補充に看護師と薬剤師をお願いしている」との答弁がありました。

また、委員から「女性消防吏員活躍推進モデル事業について、募集人数と配属先と、どのような内容で女性消防吏員が活躍するのか」との質疑があり、当局からは「採用にあたって女性枠は設けないで男性と一緒に募集となる。勤

務も当然泊りも出てくるので、それに向けて消防本部も整備をしています。また、来年建設予定の統合分署には、女性が寝泊まりできる部屋や更衣室なども整備を予定している」との答弁がありました。

消防団員、定数等の条例の一部を改正

北秋田市、消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、当局からは「今年4月1日現在の当市の消防団員数は638人であり、定員760人から670人に削減するもの、また団員の退職報償金を計算する上で、機別消防団員の勤務年数が基本団員に合算できるように改正するものであります」と説明がありました。

以上のような審査を踏まえ、全ての議案を全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 佐藤文信)

3つの常任委員会

[委員長]堀部 壽 [副委員長]虻川 敬
永井昌孝/長崎克彦/板垣 淳/松橋 隆

産業建設常任委員会

道の駅たかのす改修計画 8月発注

当委員会に付託された案件は、予算案3件でした。

令和3年度一般会計補正予算の農林課の奥見内線林道改良事業費について、委員から「工事内容は」との質疑があり、当局からは「主なものは橋梁4橋の改良で、構造は3橋がボックスカルバート、1橋が補修」との答弁がありました。

商工観光課「道の駅たかのす」関連予算について、委員から「整備検討委員会が5月の全員協議会のあと開催されていない。議員の意見反映は」との質疑があり、当局からは「議員からのご意見については、このあとの基本計画に盛り込む形で検討している」また、「基本設計の完成予定時期は」との質疑には「8月頃に発注し、完成は1月頃」との答弁がありました。

以上のような審議をした結果、一部で意見の一致をみる事ができず、反対討論として「道の駅の整備そのものを反対するものではない。せつ



道の駅たかのす

かく造るのであれば禍根を残さぬよう、数力月から1年という議論をする時間を作るためにもこの予算に反対する」、また、賛成討論として「老朽化が顕著であり、経済活動を潤滑にするため、また、観光の拠点、情報発信の場としての必要性が計画されている。早急に取り組む必要がある」との討論があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他、上下水道補正予算案2件は、全会一致で可決すべきものと決しました。
(委員長 堀部 壽)



■議員連盟…議員が特定の目的をもって結成する会のことをいいます。現在、本市議会には4つの議員連盟があります。

北秋田市議会 各議員連盟が総会を開催

森林・林業・林産業 活性化議員連盟

令和3年度北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟の総会が、6月17日に行われました。

総会では、市の森林、林業、林産業の活性化の実現に向け、3つの活動を重点課題として掲げた事業計画案及び予算案が提案され、全会一致で承認されました。

商工会活動を支援する 議員連盟

北秋田市議会展商工会活動を支援する議員連盟の定時総会が、6月29日に行われました。総会では、北秋田市商工会との勉強会や商工関連の研究・視察などを実施することとした事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。



修・視察などを実施することとした事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。

秋田内陸縦貫鉄道 北秋田議員連盟

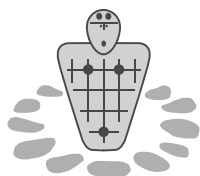
秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟の定期総会が、6月29日に行われました。

総会では、アフターコロナや伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録後の特需景気への準備を周到なものにすること、今後の観光政策や交通政策に提言していくことを盛り込んだ事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。

伊勢堂岱遺跡世界遺産 登録推進議員連盟

令和3年度北秋田市議会「伊勢堂岱遺跡」世界遺産登録推進議員連盟の総会が、6月29日に行われました。

総会では、7月の世界遺産登録を見据え、登録後は関係自治体や機関と取り組みを共有し、記念事業等に積極的に参加することを確認し、提案された事業計画案と予算案は、全会一致で承認されました。



みらい



佐藤 光子



QRコード

アフターコロナへの
備えは

Q アフターコロナを見据えた施策の展開について。

A 森吉山を中心とする観光拠点を北秋田エリア全体でつくる目的で、DMOと協同企画した「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業」が、このほど県内で唯一観光庁に採択されましたので、実施に向け準備を進めております。

Q アフターコロナにも対応しうるこれからの教育についての考えをお聞かせください。

A 第2次北秋田市学校教育ビジョン実現のキーワードは「個別最適な学び」と「協働的な学び」。この2つに取り組み、計画を確実に遂行していくことが、アフターコロナの教育環境を整

備していくことにつながっていくものと考えています。

Q コロナ禍で空き校舎をリノベーションしレンタルオフィスや地域コミュニティの場にする自治体もあるようですが、空き校舎の方向性は。

A 行政施設としての活用や民間への貸与、売却も含めて有効的活用を図りたい。



今年の3月に閉校した鷹巣中央小学校

Q 今後、行政手続きやサービス等でのようなものがデジタル化され、市民サービスが向上していくと想定されますか。

A 各種申請や施設の予約はスマホ等での手続きが可能になるものと想定しており、窓口で行う手続きが自宅等で可能となるため、移動に要する時間や経費の削減が期待できます。

市長の施政方針を問う 会派代表質問

日本共産党議員団



板垣 淳



QRコード

キティ事業は
もうやめよ

Q ハローキティ事業に累計で7500万円もかけたが、市民から「税金のムダ遣い」「あんなものに金使うのなら、もう税金は納めたくない」などの批判が上がっている。そういう声がある時点でこの事業はもう失敗やめるべきだ。

A どの自治体でもやっていない。コロナ終息後は海外から観光客に来てもらえる事業となる。伸びしろがある事業だと考えている。進めていく。

Q アンケートを行って市民の声を聞いたらどうか。

A 議会に決めてもらっていることであり、アンケートはなじまない。

Q 『道の駅たかのす』整備を「官民協働で行う」とはどういうことか。

A 民間や地域住民の声を聞くこと。

Q 老朽化しているから整備が必要と言うが、老朽化しているのは「ぶっさん館」で、これは民間の建物。民間は自分たちで整備するのが当たり前。なのに行政が14億もかけて整備するという計画で、また借金が増える。高速道路ができて車の流れが変わり、近くには「道の駅ふたつい」もできた。整備自体は反対しないが、もっと議論・検討が必要だ。

A 意見は伺うが、整備は早期に進めたい。



道の駅たかのす

新創会



佐藤 重光



QRコード

新型コロナウイルス
接種状況は

Q 新型コロナウイルスワクチン接種状況率と供給量について。
A 高齢者約1万4300人のうち、集団接種会場において、6月10日までに2回の接種を終えた方は1000人、1回の接種を終えた方が3033人となっています。これに高齢者施設の巡回接種と個別接種を合わせ



集団接種会場（鷹巣体育館）

た接種率は、2回の接種を終えた方が13.4%、1回の接種を終えた方が28.4%となっています。ワクチンは、6月18日までに1万40人分の供給があり、21日以降も順調に供給される見込みであります。

高齢者接種は7月末までに終える見込みで、16歳から64歳の接種は9月末までに完了する予定です。

Q 当日キャンセルへの対応については。

A 当初はシミュレーションに参加した近隣地区の65歳以上の方や近隣自治会に名簿を挙げていただき案内していましたが、その後は接種会場の従事者や職員に接種をしています。

Q 予約の電話がつながりにくいが。

A 予約センターでは10回線を準備しています。当初は85歳以上に一斉に通知したため混みありました。現在はほぼ待たせることなく対応できています。64歳以下の予約については、6月下旬にWEB予約を導入する予定です。

会派代表質問・・・3人以上の会派の代表が行う、市長の市政方針に対しての質問です。

一定の議員数を有する会派ごとに調整して質問することで、重複する質問を減らし、円滑かつ効率的な議事運営を図るために採用しています。

緑風・公明



堀部 壽



QRコード

「サキホコレ」栽培
3年後に期待

Q コメの新品種「サキホコレ」当市でも栽培できるよう県へ要望できないか。

A 今年度から、エリア以外の地域であっても、栽培試験を行い品質や出荷などの判定基準を3年連続でクリアできれば、作付推奨地域への編入を検討するということであり、当市からも鷹巣地区と合川地区の2農家において栽培試験中であり、期待しながら推移を見守っているところです。

Q 鳥獣被害対策について、各地区の新規猟友会員の増加を図るべきでないか。

A 70歳以上の会員が全体の4割を超えていることなどから減少が懸念されております。

一方で年々ツキノワグマをはじめ、ニホンジカやイノシシ、サルなどの目撃情報が多発傾向にありますので、新規猟友会員の確保は、急務との認識にあります。

Q 国立市に新たにアンテナショップの開設を検討する中で、現在開設している板橋区大山商店街「とれたて村」は今後どのようなになるのか。

A 最寄り駅の「大山駅」周辺では、駅前開発が始まり、開発後は交通の利便性が高まり、多様な人が集う街となることが予想されることから、当市の農産物や特産品を今まで以上にPRし、知名度アップと販路拡大につなげていきたいと考えております。



板橋区大山商店街「とれたて村」

一般質問

活かそう市民の声 市政を問う!

一般質問は、6月21日・22日の2日間で行われ、8名の議員が登壇しました。

なお、QRコード読み込むとそれぞれの議員の一般質問の動画がご覧になれます。

虻川 敬 議員 (P12)

- ◆伊勢堂岱遺跡を含む北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けての環境整備について
- ◆当市の交通インフラについて



長崎 克彦 議員 (P13)

- ◆林業の成長産業化について
- ◆災害(自然)について



板垣 淳 議員 (P13)

- ◆コロナ対策について
- ◆マイナンバーカードについて
- ◆ヤングケアラーについて



福岡 由巳 議員 (P13)

- ◆北秋田市地域公共交通について
- ◆財産区管理について



中嶋 洋子 議員 (P14)

- ◆伊勢堂岱遺跡世界文化遺産へ
- ◆子宮頸がんワクチンについて



大森 光信 議員 (P14)

- ◆「道の駅たかのす」基本構想について
- ◆子育て政策について
- ◆コロナ対策について



三浦 倫美 議員 (P14)

- ◆小阿仁川河川改修について
- ◆水害被災農地・農業用施設の復旧状況について
- ◆合川地区のまちづくりについて
- ◆生活困窮者支援策について



久留嶋 範子 議員 (P15)

- ◆コロナ禍での若者への支援について
- ◆小学校の登下校時の安全対策について



Q 伊勢堂岱遺跡への交通アクセスとして市街



鷹ノ巣駅内の跨線橋

A これまでも鷹ノ巣駅に関する改善等についてはJRに要望している。本件にいても要望していくが費用負担についてはJRが主体となるべきものと考え。

Q 鷹ノ巣駅内跨線橋の改善が必要では。

A お土産の購入や飲食できる店舗が少ない事は認識している。空き店舗支援策について検討していく。

Q 世界遺産登録に向け市の玄関口鷹ノ巣駅周辺の整備を進めるべきでは。

地循環バスを利用できないか。

A 買い物や通院など生活の利便性を考慮し設定したルートとなっているので、伊勢堂岱遺跡を含めたルートは困難。伊勢堂岱遺跡へのアクセスについては、乗合タクシーの利便性の向上やリムジンバス等の活用の可能性を関係機関と協議していく。

Q 市街地循環バスを道の駅たかのすへ乗り入れる交通計画は。

A 北秋田市地域公共交通利便増進実施計画で新たな循環路線として北部循環バスの運行を計画しているが道の駅たかのすへの立ち寄りには盛り込まれていない。今後、道の駅への立ち寄りも含め実証実験に向け運行経路等を精査し検討していく。



鷹ノ巣駅周辺の
環境整備を
虻川 敬
(新創会)



国立市との友好的森事業(令和元年)

Q 国から指定を受けた2市1村の林業の成果と今後の対策は。

A 多くの事業者や行政機関が連携して取り組んでおり、事業者の設備投資補助事業で、生産能力の向上につなげ成果を上げている。

Q 国立市との連携と今後の取り組みは。

A 国立市とは森林環境譲与税を活用するため、本年「森林整備の実施に関する協定」を締結した。都市と山村の友好の森事業では、今年度、市内の児童による植樹を実施し、次年度



林業の成長産業化と今後の計画は

長崎 克彦
(無党派)

につなげていく。

Q 防災マップの更新と普及対策を。

A 水防法の改定に伴い、今年度中に千年に一度と言われる降雨を想定し、氾濫した場合の最大規模の浸水想定区域や土砂災害警戒区域を反映した内容に変更して全戸に配布する。

Q 自主防災組織の結成と物資の備蓄の現状は。

A 自主防災組織は町内会、自治会などで現在43団体が組織され、年間の結成数は3団体程度。避難誘導や高齢者、障がい者を支えていく活動など、重要な組織であり、組織の防災活動に対しては補助金を交付している。物資備蓄状況は、避難所に発電機、投光器、石油ストーブ等を配備している。

Q 近隣市町村は皆、商品券無償配布又はプレミアム付き商品券を実施している。当市でも実施を。

A 効果を検証してから考える。

Q 昨年、実施した時に「大きな経済効果」と自画自賛していたではないか。

A 検討する。

Q 12歳から15歳までの新型コロナワクチン接種は。

A 速やかに進める。

Q コロナ対応で職員は疲労。人員を削減してきたツケだ。大災害の時に対応できるかも心配。行政の足腰を弱めではならない。人件費は減っても委託費は増えている。これでいいのか。

A 今後は必要人数を検討する。



ヤングケアラーへの対策を

板垣 淳
(日本共産党議員団)

Q 広報に「3月からマイナンバーカードの保険証利用が始まる」とあるが、市内では使えない。以前も指摘したのに、また同じ間違いをしており、由々しき問題だ。

A 前回「市民に周知するものは、しっかりと確認してから行う」と答弁したが、今回も同じ答弁になる。

Q ヤングケアラーが、社会問題化している。対応を。

A 国や県、他市町村の動向をみて調査などについて検討したい。



コロナワクチン接種会場

Q 市長は2017年3期目の当選時に「高齢者が移動の手段がなく不自由している。そうした地域をあぶり出し優先順位をつけて、公共交通体系の整備を進めていきたい」と。現在も変わらないか。

A 変わらない。

Q 今度の「実施計画」では鷹巣市街地は路線バスを含めて100円均一の運賃にし、それ以外は100円均一ではない。市長が言う地域優先と逆ではないか。

A 100円均一は市街地巡回バスを想定し、その他は巡回バスでない。特段、問題とは認識していない。

Q 中心市街地は100円均一。合川杉山田からイオン鷹巣まで現在910円、「実施計画」では1180円。大幅



地域格差を拡大する公共交通計画

福岡 由己
(無党派)

A 運賃については検討する必要があるかと思っている。

Q 財産区の会議録を取り寄せたが送付者は財産区管理会長。議事録は会長の確認を取っていないようであるが。

A 会議録を送付したことを確認していない。

Q 会議録の記録者は事務局。会長名で送付しながら会長は見えていない。会長と事務局の関係はどういうことか。

A 残念ながら把握していない。



地域の乗車料金は大幅値上げ



**伊勢堂岱遺跡・
世界文化遺産へ**

中嶋 洋子
(みらい)

Q 伊勢堂岱遺跡の観光客の受け入れとガイド体制の整備、価値や魅力をどう発信するのか。

A 伊勢堂岱ワークキンググループとジュニアボランティアアガイドは、アフターコロナに向けてスキルアップに励んでいる。閉鎖する冬期間の対策として、VRゴーグルを装着すると、あたかも遺跡の中に立っているような感覚で見学できる最新技術の活用も検討しており、デジタル技術と現在のガイド等を組み合わせ、見学者への対応を充実させたい。



決定を待つ伊勢堂岱遺跡

地元市民にも是非、足を運んでいただきたく、各団体等への案内を積極的に展開していきたい。

Q 子宮頸がんワクチンの今後の方針は、「定期予防接種」であることとを広く知らせることは、自治体の役割であり、周知方法は個別通知に。

A 今年度6月下旬までに中学1年生から高校1年生の女子を対象に接種勧奨目的ではなくワクチンの有効性や副反応についての情報提供を個別通知する。

ポランティアガイドの支援や、交通機関の利便性を生かし秋田内陸線のツアー事業への協力など、積極的に民間へ情報を提供しながら発信に努めたい。



**大館能代空港の
道の駅拡充を**

大森 光信
(みらい)

Q いま観光インフラの充実を図るべきは国道7号の道の駅たかのすではなく、大館能代空港道の駅の拡充かと考えるがどうか。

A 市としての拡充は現在考えていない。

Q 市議会全員協議会では、慎重にとりかかっていた印象がある。さらに全員協議会から定例会まで3週間足らずと拙速さは否めない。今回の予算措置は理解を得られたという判断か。

A 「道の駅たかのす」を中長期的に考えると早期に整備計画に着手する必要があると判断した。

Q 子育てサポート施設「わんぱあく」が「道の駅たかのす」基本構想から外れたことにより、再び宙に浮いた形となった。この事業計画は二転三転し、今となっ

ては白紙状態になってしまった。早急に事業実施に向け取り組みが必要があるがどうか。

A 今後検討委員会を立ち上げ整備方針を決定した上で、令和4年度中の完成を目指し準備を進めていく。



白紙となっている「わんぱあく」

Q 新型コロナウイルス感染症対策飲食店認証制度について、市独自の認証制度を設けるべきでは。

A コロナ対策を講じている事業者に対して、飲食店以外の事業者にも対応する北秋田市独自の認証制度を実施していく。



**小阿仁川改修進捗と
今後の計画は**

三浦 倫美
(日本共産党議員団)

Q 河川改修の進捗は。

A 三木田工区は順調。鎌沢から杉山田工区は現状の計画で整備を進めた場合、河川断面が大きく不経済。上流地域からも改修要望があり、鎌沢地区から上小阿仁村大林地区までの計画高水流量が見直された。当初計画より遅れが生じているが、河道断面確保のため杉山田地区の洲ざらいや伐木等を行っているほか、河川全体の流れ改良の詳細設計を行っている。



合川地区住民とまちづくり

Q 被災農地復旧は。

A 平成30年豪雨被災農地等は、市単独予算の緊急復旧、地域の自力、国事業の道路復旧、県の小災害復旧事業等を駆使して復旧した。

Q 合川地区まちづくり住民合意形成を。

A 合川公民館整備事業完了後、速やかに意見交換会の場を設定する。

Q 困窮者支援策は。

A 生活困窮者自立相談支援事業と家計相談支援事業を社会福祉協議会に委託し、「北秋田くらし相談センター」を開設して対応している。また、毎月の支援調整会議で、弁護士、ハローワーク、市内社会福祉法人、市福祉課及び保健センター等が連携して包括的支援プランを協議し実施している。

Q 緊急経済対策として、保護者への商品券、学生に給付金の事業を開始したが、不安をかかえ学生生活を送っている大学生等に食料品支援はできないか。

A 商品券が必要としている食料品などを地元から購入して、仕送りをしていただきたい。
Q 「生理の貧困」が社会問題になっている。当市での取り組みは。

A 市民に生理用品を無償で提供する「あじさいカード事業」を6月24日から実施することとした。提供窓口は、市福祉課ほか5か所。
Q 小学校の登下校時の安全対策について。4月に市内でスクールバスが絡む事故が発生している。今後の対策は十分か。

A 北秋田署との共催で、

Q 湯ノ岱温泉は、3月から再開し、利用者から喜ばれているが、営業時間が時短となった。延長できないか。

A アンケートでは6割が、今の時間帯で良いとの回答を得ている。



事故を受けて看板設置

Q 県北自動車学校の協力を得て安全講習会を2回に分けて行っている。高齢の運転手も多いことから健康管理に留意し、来年度以降の講習会の開催も検討する。また、事故対応マニュアルの内容を改善し、運転手への周知を徹底していきたい。

県北自動車学校の協力を得て安全講習会を2回に分けて行っている。高齢の運転手も多いことから健康管理に留意し、来年度以降の講習会の開催も検討する。また、事故対応マニュアルの内容を改善し、運転手への周知を徹底していきたい。



久留嶋 範子
(日本共産党議員団)

コロナ禍において
若者への支援を

令和2年度 政務活動費の公表

政務活動費は、議員の調査研究活動の充実を図るため、議員活動に掛かる経費の一部を補助するもので、北秋田市では議員1人あたり月額1万を会派に交付しています。

また、会派に属していない議員については、月額1万円を議員個人に交付しており、いずれも年度終了後には、全支出の領収書を添えた収支報告書が作成され、残額については市に全額返還されています。



	新創会 (5人)	みらい (5人)	緑風・公明 (4人)	日本共産党 議員団(3人)	山田博康 (無会派)	福岡由巳 (無会派)	長崎克彦 (無会派)	計	
収入	政務活動費	600,000	600,000	480,000	360,000	120,000	申請なし	120,000	2,280,000
	計	600,000	600,000	480,000	360,000	120,000		120,000	2,280,000
支出	調査研究費	0	0	0	0	0	0	0	0
	研修費	0	0	0	0	0	55,525	55,525	55,525
	広報費	0	0	0	0	0	0	0	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	23,689	0	0	0	23,689
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	23,689	0	0	55,525	79,214	
残額	600,000	600,000	480,000	336,311	120,000		64,475	2,200,786	



議会を傍聴してみませんか？

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧くださるようお願いしています。

次の定例会は9月の予定です

各常任委員会の会場

総務文教（森吉庁舎）／市民福祉（合川庁舎）／産業建設（阿仁庁舎）

全国市議会議長会議長表彰



長崎 克彦 議員 佐藤 重光 議員 佐藤 文信 議員

第97回全国市議会議長会定例会において、北秋田市議会から3名の議員が表彰されました。
本市議会では、6月定例会において表彰の伝達を行い、長年にわたり地方自治の発展と振興に尽力された功績をたたえました。

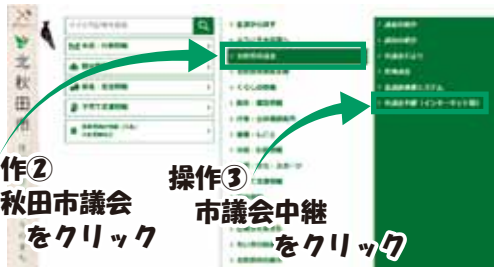
- 【20年以上特別表彰】 長崎 克彦 議員
- 【20年以上特別表彰】 佐藤 重光 議員
- 【20年以上特別表彰】 佐藤 文信 議員

パソコン

(北秋田市ホームページ)



操作① メニューをクリック



操作② 北秋田市議会
をクリック

操作③ 市議会中継
をクリック

スマートフォン・タブレット

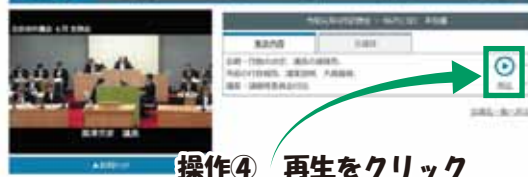
①QRコード読み取りアプリを起動して
下のQRコードを読み取る



生中継・録画映像
配信先QRコード

画面が切り替わりましたら、再生ボタン
を押してください。

(議会中継のページへ)



操作④ 再生をクリック
(本会議の生中継がご覧になれます)

本会議の生中継や録画映像を
パソコンやスマートフォンで!

- | | | | | | |
|----|----|----|----|------|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員 |
| 光 | 重 | 佐藤 | 武田 | 佐藤 | 三浦 |
| 敬 | 人 | 浩 | 田 | 川 | 浦 |
| | | 子 | 光 | 倫 | 美 |
| | | 敬 | 敬 | 美 | 弘 |

広報特別委員会

朗読ボランティア やまびこ
代表 萩原順子
☎ 090-4314-7102

【お問い合わせ】

直接「やまびこ」までお問
い合わせください。

配布を希望される方は、
料で配布しています。

目の不自由な方に広報の
音声CDを配布します

朗読ボランティア やまびこ



©1976, 2021 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO.L617300



北秋田市議会

検索



<https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/shigikai>